

## 海底下CCS事業におけるCO2圧入・貯留状況に応じた海洋モニタリング手法の確立を図る

### 1. 事業目的

海洋環境に悪影響を及ぼさないよう、海底下CCS事業が安全・適正に実施されることを確保するため、CO2の圧入・貯留状況に応じたモニタリング手法を確立

### 2. 事業内容

#### (1) 海底下CCS事業に係るモニタリング調査

○国内第1号海底下CCS事業（経産省事業）について、規制官庁である環境省において、苫小牧沿岸域における海洋環境の把握のために、海洋中の水質・底質・底生生物等の環境モニタリング調査、海底下における貯留層内の圧入CO2挙動等把握のために、物理探査等の海底下モニタリング調査を実施し、CO2の圧入・貯留状況に応じた適正かつ合理的なモニタリング技術の適用及び評価方法の確立を図るとともに、結果を国民に公表する。

#### (2) 海底下CCS事業に係るモニタリング技術の確立に向けた調査

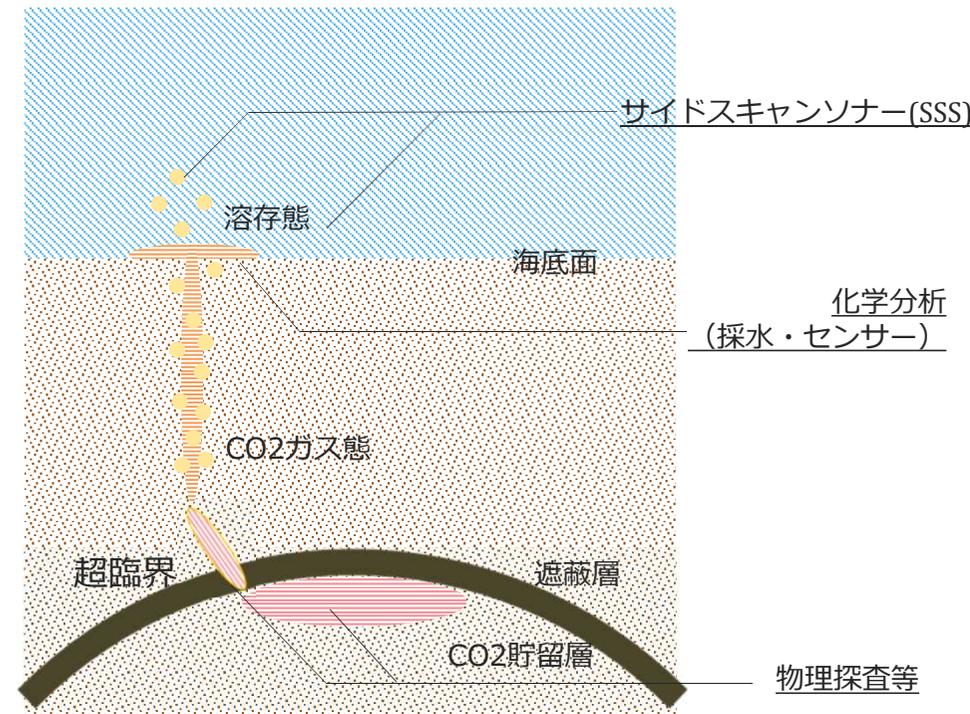
○海底下CCS事業以外の分野において既に確立され、実用化されている海洋調査技術について、海底下CCS事業におけるCO2漏出検知手法としての適用可能性について検証を行う。

### 3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業
- 委託先 民間事業者
- 実施期間 令和元年度～令和3年度

### 4. 事業イメージ

#### 海底下CCSモニタリング（イメージ図）



※本事業の対象は下線部の項目